

2. 「大分市総合戦略」施策評価による今後の施策の方向性(案)

※ 施策評価／評価指標の達成度を踏まえ総合的に施策展開を評価

基本目標	基本的な 施策	施 策	事 業 費		部局名	重 要 業 績 評 価 指 標（K P I）					評 価 ※	今後の施策展開（考え方）		
			名称	名称		名称	H28決算額 H29決算額 H30予算額	比率 （事業費）	指 標 名	基準値 （H26年度）		計画 （H29年度）	実 績 （H29年度）	目標値 （H31年度）
Ⅰ しごととにぎわいをつくる	1 工業・商業・サ ービス業の振 興	【基本的方向】 企業の経営基盤の強化や製品の供給体制の充実 など、地域の発展を支える各種産業の機能強化を 図り、U I J ターンによる転職者を含むあらゆる 労働者が、さまざまな分野で働けるよう魅力ある 仕事づくりを進める。 また、関係機関との連携を強化し、住む人や訪 れる人たちにとっての新たな魅力を創出すること で、にぎわいと活力に満ちた街づくりを進めると ともに、I C T を快適に活用できるよう、情報基 盤の整備・充実を図る。	数値目標 1		誘致企業件数（累積）	8件 （H27年度）	14件 （H28-29累 積）	36件 （H28-29累 積）	28件 （H28-31累 積）	B 概ね順調 に施策を 展開して いる	本市では、企業立地促進助成金等により、企業誘致や創業支援、企業の事業継続・拡大及び生産力向上につながる設備投資や競争力強化を促進するための人材育成や販路拡大などに力を入れてきた。今後も引き続き大分県や関係機関と連携しながら支援を続けて行くことにより、税収の増加や雇用の拡大、それに伴う若年層の地域定着や人口減少の抑制、さらには誘致企業の経済活動に伴う中小企業への経済波及効果につなげていく必要がある。 また、消費者動向が大きく変化するなど、小売商業を取り巻く環境が非常に厳しさを増す中、店舗の集積を促進し、商店街の機能が最大限発揮できるよう、商店街組織の機能強化を図るとともに、ラグビーワールドカップの開催などの大きなイベントに備え、国内外からの多くの観光客に対するサービスの向上のために、特色ある商店や魅力ある商店街づくりに向けた商業・サービス業の支援体制を拡充する必要がある。 さらに、観光宿泊客数は年々順調に伸びており、今後も国内外の観光誘客を推進するために、平成29年3月に策定した「大分市観光戦略プラン」に基づく施策展開を進め、国内外の誘客に向けた取組や受入体制づくりについてスピード感を持って展開する必要がある。			
			数値目標 2			小売業の年間商品販売額		4,863億円	4,932億円				5,551億円 （H28年度）	5,000億円
			数値目標 3			観光宿泊客数		776,947人	830,000人				940,000人	880,000人
		(1) 工業の振興	4,062,419	3.5	商工労働観光	①誘致企業件数（累積）	8件 （H27年度）	14件 （H28-29累 積）	36件 （H28-29累 積）	28件 （H28-31累 積）	B 概ね順調 に施策を 展開して いる	・クリエイティブ産業育成事業 ・（仮称）大分ものづくり中小企業先進事例集作製事業 ・企業立地推進事業 ・中小企業競争力強化支援事業 ・中小企業経営力強化推進事業 ・中小企業販路拡大応援事業 ・海外販路拡大支援事業 ・大分市産業活性化プラザ ・「チャレンジ創業！」大分市創業者応援事業 ・中小製造業設備投資補助事業 ・水素利活用推進事業（計画）		第4部：産業の振興 第1章：特性を生かした生産業 の展開 資料P8・No.23
			4,137,730	3.2		②市内創業支援機関等の支援による創業件数	49件	200件	193件	200件				
			3,796,899	2.9		③市が開催・支援する人材育成に係る講座及び研修の延べ受講者数（年間）	1,390人	1,800人	1,893人	1,800人				
						④海外への経済交流支援企業数（累積）	35社	80社 （H28-29累 積）	51社 （H28-29累 積）	160社 （H28-31累 積）				
		(2) 商業・サービス業の振興	174,492	0.1	商工労働観光	①小売業の年間商品販売額	4,863億円	4,932億円	5,551億円 （H28年度）	5,000億円	C 概ね順調 である が、一部 改善が必要	・中小企業競争力強化支援事業 ・おおいた物産・食・観光魅力発信事業 ・ふるさと大分市応援寄附金推進事業 ・歩行者天国実施事業 ・おおいた食と暮らしの祭典補助金 ・大分七夕まつり補助金 ・商都復活支援事業		第4部：産業の振興 第2章：活気ある流通・サービ ス業の展開 資料P9・No.27
			218,772	0.2		②卸売商業の年間商品販売額	7,822億円	8,061億円	9,127億円 （H28年度）	8,300億円				
						③中心部における歩行者通行量	329,781人	350,000人	306,720人	350,000人 以上				
			252,885	0.2		④中心市街地の空き店舗率	7.7%	5.9%	11.8%	4.6%				
		(3) 流通拠点の充実	286,536	0.2	商工労働観光 農林水産	①公設地方卸売市場における取扱金額（青果部）	149億円 （H27年度）	149億円	149億円	149億円	C 概ね順調 である が、一部 改善が必要	・大分県ポートセールス実行委員会負担金		第4部：産業の振興 第2章：活気ある流通・サービ ス業の展開 資料P9・No.28
	247,303		0.2	②公設地方卸売市場における取扱金額（水産部）		85億円 （H27年度）	85億円	80億円	85億円					
	493,656		0.4	③大分港大在コンテナターミナルの取扱実入りコンテナ数（外貨及び内貨） ※TEU：20フィートコンテナに換算した個数の単位		31,599TEU （H27年度）	38,000TEU	36,863TEU	38,000TEU					
	2 農林水産業の振興	(1) 農業の振興	1,234,028	1.0	農林水産 農業委員会	①認定新規就農者数（累積）	7人 （H27年度末 現在）	17人	11人	27人	B 概ね順調 に施策を 展開して いる	・農地集積交付金事業 ・団体営農業体質強化基盤整備促進事業 ・みかん訪果害虫緊急対策事業 ・有機農産物等認証推進支援事業 ・人・農地プラン推進事業 ・おおいた産品創出・魅力発信事業 ・新たな担い手経営開始等支援事業 ・園芸振興総合対策事業費補助金 ・有害鳥獣対策事業（ジビエ販路拡大支援事業含む） ・大分川ダム周辺整備事業（道の駅・材料山） ・ファーマーズカレッジ事業 ・親元就農給付金 ・おおいた農業塾開催モデル事業 ・肉用牛放牧地域活性化事業		第4部：産業の振興 第1章：特性を生かした生産業 の展開 資料P8・No.24
			1,390,142	1.1		②主要品目（ニラ・オオバ・ミツバ・水耕セリ・イチゴ・ピーマン・パセリ・酪農・肉用牛（繁殖））の産出額	42.29億円	42.57億円	46.01億円	43.37億円				
						③集落での共同活動取組集落数	80 （H27年度末 現在）	90	84	100				
						④認定農業者の1経営体当たり経営面積	276a	330a	298a	370a				
			2,583,758	2.0		⑤6次産業化商品数（累積）	18品	35品 （H27-29累 積）	47品 （H27-29累 積）	40品 （H27-31累 積）				

※ 施策評価／評価指標の達成度を踏まえ総合的に施策展開を評価

基本目標	基本的な 施策	施 策	事 業 費		部局名	重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）					評 価 ※	今後の施策展開(考え方)	
			名称	名称		名称	H28決算額 H29決算額 H30予算額	比率 (事業費)	指 標 名	基準値 (H26年度)		計画 (H29年度)	実 績 (H29年度)
Ⅰ しごととにぎわいをつくる	2 農 林 水 産 業 の 振 興	(2) 林業の振興	109,680	0.1	農林水産	①年間間伐面積	122ha	165.0ha	50.1ha	195ha	C 概ね順調 である が、一部 改善が必要	・荒廃竹林整備・利活用推進事業 ・大分市産材利用促進事業 ・森林セラピー魅力創出事業 ・森林整備対策事業 ・林業作業士確保育成支援事業 ・森林資源利用促進対策事業 ・木材供給体制強化事業	第4部：産業の振興 第1章：特性を生かした生産業 の展開 資料P8・No.25
			74,537	0.1		②年間素材生産量	9,113㎡	13,000㎡	26,041㎡	24,300㎡			
			144,464	0.1		③主要林道舗装延長（累積）	1,875m (H27年度末 現在)	2,340m	2,553m	2,800m			
		(3) 水産業の振興	180,380	0.2	農林水産	①増殖場の造成面積	25,620㎡ (H27年度末 現在)	49,637㎡	37,564㎡	63,637㎡	C 概ね順調 である が、一部 改善が必要	・養殖・蓄養促進事業 ・漁港海岸保全施設老朽化対策事業 ・新規漁業就業者育成支援事業 ・漁村再生事業(魚礁漁場造成) ・内水面漁業増殖事業(旧種苗放流事業) ・漁港整備事業(小黑漁港)	第4部：産業の振興 第1章：特性を生かした生産業 の展開 資料P8・No.26
			237,451	0.2		②漁礁設置量	58,659空㎡	64,833空㎡	61,100空㎡	64,833空㎡			
			497,095	0.4		③Ｉターン就業者数（累積）	7人 (H27年度末 現在)	11人	11人	17人			
						④ブランド魚種の漁獲量	263.76t (H27年度)	259.2t	222.7t	264.26t			
		3 雇 用 と に ぎ わ い の 創 出	(1) 安定した雇用の確保と勤労者 福祉の充実	172,349	0.1	商工労働観光 福祉保健部	⑤（公社）大分市シルバー人材センターの事業実績 金額	561,700 千円 (H27年度)	624,946 千円	641,773 千円	700,000 千円	B 概ね順調 に施策を 展開して いる	・シルバー人材センター補助金 ・おおいた勤労者サービスセンター補助金 ・若年者職業意識向上事業 ・移住者就労促進事業 ・知的・精神障がい者雇用促進事業
	176,135			0.1	⑥中小企業勤労者向けの福利厚生機関（（一財）お おいた勤労者サービスセンター）の会員数		19,436人 (H27年度)	20,727人	20,442人	24,600人			
	185,939			0.1	⑦ＵＩＪターン就職件数（大分産業人材センターの 登録者のうち、大分市へ就職した件数）（累積）		72人 (H27年度)	150人 (H28-29累 積)	169人 (H28-29累 積)	300人 (H28-31実 績)			
	(2) 魅力ある観光の振興		568,266	0.5	商工労働観光	①観光入込客数	3,437,002人	408万人	391万人 (速報値)	460万人	B 概ね順調 に施策を 展開して いる	・観光リーディングプロジェクト事業 ・観光交流事業 ・豊の都市おおいた情報発信事業 ・動物園管理事業 ・農作物対策事業	第4部：産業の振興 第4章：魅力ある観光の振興 資料P9・No.30
			703,953	0.5		②観光宿泊客数	776,947人	83万人	94万人 (速報値)	880,000人			
			617,829	0.5		③外国人観光宿泊客数	13,991人	17,402人	43,317人 (速報値)	35,000人			
	4 I C T の 利 活	(1) 地域情報化の推進	1,283,972	1.1	企画	①ＩＣＴ講習会受講者数（累積）	45,594人 (H27年度末 現在)	55,800人	53,306人	65,000人	C 概ね順調 である が、一部 改善が必要	・ビッグデータ活用推進事業 ・情報セキュリティ強化事業 ・ブロードバンド環境調査事業 ・地域情報化推進事業 ・システム変更事業	第5部：都市基盤の形成 第1章：快適な都市構造の形成 と機能の充実 資料P10・No.33
			1,640,052	1.3		②公衆無線ＬＡＮアクセスポイント数（累積）	3,028アクセ スポイント	3,353アクセ スポイント	3,008アクセ スポイント	3,550アクセ スポイント			
			1,553,624	1.2									
小 計（H28決算額）			8,072,122	6.9									
小 計（H29決算額）			8,826,075	6.8									
小 計（H30予算額）			10,126,149	7.7									

※ 施策評価／評価指標の達成度を踏まえ総合的に施策展開を評価

基本目標	基本的な 施策	施 策	事 業 費		部局名	重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）					評 価 ※	今後の施策展開(考え方)	
名称	名称	名称	H28決算額 H29決算額 H30予算額	比率 (事業費)		指 標 名	基準値 (H26年度)	計画 (H29年度)	実 績 (H29年度)	目標値 (H31年度)		施策評価（案）と施策ごとの主な事業 (赤) 平成30年度新規事業	大分市総合計画での位置付けと 政策・施策資料ページ及び施策 コード
Ⅱ 人を大切にし、 次代を担う若者を育てる	【基本的方向】 若い世代が希望どおりに結婚し、安心して子どもを産み育てることができるよう、結婚から子育てに至るまで切れ目のない支援を充実するとともに、地域や社会全体で子どもの育ちや子育てを支える環境を整える。 また、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育成し、自ら学び自ら考えるなどの生きる力をはぐくむ教育の創造に努め、全ての子どもが健やかに育つことができるまちづくりを推進する。 さらに、人権を尊重し、互いに認め合うなかで、だれもが住み慣れた地域で生きがいを持って、健康で安心して暮らしていける社会の実現を目指す。		数値目標 1			合計特殊出生率	1.59 (H25年度)	1.62	1.62 (H28年)	1.62	B 概ね順調に施策を展開している	平成27年に上昇に転じた合計特殊出生率は、平成28年には目標値である1.62に達し、大分県の数値1.61をも上回った。大分市人口ビジョンにおいては、合計特殊出生率を2030年までに2.0程度まで、2040年までに2.3程度まで高めていくことが必要であるとしていることから、出生率のさらなる上昇に向け、今後も引き続き、若い世代が希望どおりに結婚し、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるとともに、出生率が低下する要因である「晩婚化・晩産化」やそれらに大きな影響を与えていると考えられる「働き方」「所得」や「地域・家族の支援力」等の課題克服に向け、さまざまな分野における総合的な施策を行政や地域、関係団体等が一体となって展開して行く必要がある。 また、保育施設利用待機児童の解消に向けては、平成26年度から既存保育施設の増改築や新規開設、幼稚園の認定こども園への移行などを進めているが、計画を上回る入所希望者があり、平成30年4月1日時点で13人の待機児童が生じたところである。そこで平成30年度においても引き続き、認可保育施設の増改築と新規開設を実施し、さらには現在の待機児童の状況を地区・年齢別に分析するとともに、潜在的な保育ニーズの伸びを勘案する中で、定員拡大を図っていく必要がある。	
	1 切れ目からない子育て支援までの	(1)子ども・子育て支援の充実	23,816,087	20.2	企画 子どもすこやか福祉保健	①保育施設利用待機児童数	350人 (H28.4月)	0人	13人 (H30.4月)	0人 (H32.4月)	B 概ね順調に施策を展開している	・認可外保育施設巡回支援事業 ・子どもの生活実態調査事業 ・妊婦・乳幼児健康診査事業（新生児聴覚検査事業含む） ・児童育成クラブ事業 ・児童福祉施設整備事業 ・地域多世代ふれあい交流事業 ・子どもの居場所づくり事業 ・子どもの学習支援事業 ・保育所等運営事業 ・子ども医療費助成事業 ・保育所等巡回支援事業 ・民間放課後児童育成クラブ活用事業 ・ひとり親支援プラザ ・ひとり親家庭等医療費助成事業 ・子育て支援サイト運営事業 ・ときめき出会いサポート事業 ・乳児家庭全戸訪問事業	第1部：市民福祉の向上 第1章：社会福祉の充実 資料P1・No.02
			25,965,167	20.0		②児童育成クラブ定員	3,739人 (H28.4月)	3,910人	5,153人 (H30.4月)	4,082人 (H32.4月)			
			28,081,873	21.4		③大分市子育て支援サイト「naana」アクセス数	506,945件 (H27年度)	515,000件	445,133件	550,000件			
						④乳児家庭全戸訪問事業実施率（こんにちは赤ちゃん訪問事業）	95.4%	100%	94.9%	100%			
						⑤ひとり親家庭等の就業支援に関する講習会参加延べ人数	692人	800人	556人	800人	B 概ね順調に施策を展開している	・私立中学校体育・文化振興費補助事業 ・スクールサポートスタッフ配置事業 ・教育の情報化推進事業（プログラミング教育推進事業） ・教職員出退勤管理システム整備事業 ・大分っ子基礎学力アップ推進事業 ・外国語指導助手招聘事業 ・日本語指導等支援事業 ・歯と口の健康づくり事業 ・教科指導マイスター派遣事業 ・大分っ子学力向上推進事業 ・大分っ子体力アップわくわく事業 ・市立幼稚園一時預かり事業 ・特別支援等教育活動サポート事業 ・大分市小中一貫教育推進事業 ・幼児教育振興計画推進事業 ・私立幼稚園就園奨励事業	第2部：教育・文化の振興 第1章：豊かな人間性の創造 資料P4・No.12
						⑥市内企業における男性職員の育児休業取得率（平成25年度実績はアンケート結果）	2.27% (H25年度)	-	H30年度に調査予定	13.0%			
						①国・県・市主催の学力調査で全国平均以上の教科の割合	78.9% (H27年度)	100.0%	82.5%	100%	B 概ね順調に施策を展開している	・（仮称）幼稚園緊急時コールシステム整備事業 ・いじめ・不登校等未然防止対策事業 ・特別支援教育メディカルサポート事業 ・スクールソーシャルワーカー活用事業 ・小中学校空調設備整備事業 ・小中学校施設整備保全事業（長寿命化改修） ・奨学助成事業 ・学校図書館活性化事業 ・就学援助事業 ・幼稚園施設管理事業	第2部：教育・文化の振興 第1章：豊かな人間性の創造 資料P4・No.13
						②新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合	小学校76.9% (H27年度) 中学校81.8% (H27年度)	小学校81.0% 中学校84.0%	小学校83.2% 中学校85.3%	小学校81.0% 中学校84.0%			
						③毎日朝食を食べる児童生徒の割合	小学校84.8% (H27年度) 中学校85.3% (H27年度)	小学校100% 中学校100%	小学校84.6% 中学校84.2%	小学校100% 中学校100%			
						①小中学校の普通教室への空調機設置率	0.0%	0.0%	3.49%	64.0%	B 概ね順調に施策を展開している		
						②地域人材の活用人数	1,382人 (H27年度)	1,660人	1,350人	1,900人			
						③学校運営協議会の設置校（累積）	2校	16校	16校	30校			
						①市民一人当たりの図書貸出冊数	2.9冊 (H27年度)	4.0冊	2.9冊	4.8冊	B 概ね順調に施策を展開している	公民館類似施設整備事業 ・おおいた人権フェスティバル ・おおいたナイトスクール事業 ・人権・同和教育啓発事業 ・おおいたふれあい学びの広場推進事業 ・市民図書館管理運営事業 ・地区公民館管理運営事業 ・公民館類似施設管理運営費補助事業 ・エスplanサ・コレジオ管理運営事業 ・家庭教育支援事業 ・少年自然の家管理運営事業 ・大学連携推進事業	第2部：教育・文化の振興 第1章：豊かな人間性の創造 資料P4・No.14
						②地区公民館等で地域活動を支える人材育成講座の参加者数	600人 (H27年度)	620人	725人	700人			
						③「まなびのガイド」へのアクセス件数	96,673件	128,000件	126,555件	120,000件			

※ 施策評価／評価指標の達成度を踏まえ総合的に施策展開を評価

基本目標	基本的な 施策	施 策	事 業 費		部局名	重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）					評 価 ※	今後の施策展開(考え方)	
			名称	名称		名称	H28決算額 H29決算額 H30予算額	比率 (事業費)	指 標 名	基準値 (H26年度)		計画 (H29年度)	実 績 (H29年度)
Ⅱ 人を大切にし、次代を担う若者を育てる	3 男女共同参画社会づくり	(1)男女共同参画社会の実現	7,175	0.0	企画	①固定的な性別役割分担に反対する人の割合	69.6%	72.90%	78.00%	75.0%	B 概ね順調に施策を展開している	・男女共同参画啓発事業	第1部：市民福祉の向上 第3章：人間尊重社会の形成 資料P3・No.09
			6,102	0.0		②男女共同参画社会という意味を知っている人の割合	30.3%	42.2%	40.7%	50.0%			
			7,590	0.0									
	4 高齢者や障がい者が活躍できる社会づくり	(1)高齢者福祉の充実	40,759,077	34.6	福祉保健	①認知症サポーター養成講座受講者数（累積）	26,376人 (H27年度末現在)	36,000人	35,182人	50,000人	B 概ね順調に施策を展開している	・老人福祉施設等整備事業 ・介護給付費 ・高齢者ワンコインバス事業 ・老人クラブ活動費補助事業 ・地域ふれあいサロン事業 ・高齢者食の自立支援事業 ・認知症対策関連事業 ・在宅医療・介護連携推進事業	第1部：市民福祉の向上 第1章：社会福祉の充実 資料P1・No.03
			42,958,323	33.1		②地域ふれあいサロン利用登録者数（累積）	12,700人 (H27年度末現在)	13,300人	12,356人	14,000人			
			44,076,644	33.6									
		(2)健康づくりの推進	1,610,984	1.4	福祉保健	③食生活改善推進委員養成講座修了者数（累積）	447人 (H27年度末現在)	519人	519人	550人	B 概ね順調に施策を展開している	・おたふくかぜワクチン予防接種費助成事業 ・働く世代健康応援事業 ・健康推進員地域活動事業 ・健康づくり推進事業（慢性腎臓病対策推進事業） ・老・成人健康診査事業 ・働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業 ・健康づくり推進事業（各種健康教育事業） ・各種予防接種事業 ・地域自殺対策強化事業	第1部：市民福祉の向上 第2章：健康の増進と医療体制の充実 資料P2・No.06
			1,612,193	1.2		④大分市健康推進員配置自治区数	652自治区 (H27年度末現在)	687自治区	660自治区	全自治区 (687自治区)			
			1,704,254	1.3									
		(3)障がい者（児）福祉の充実	11,781,362	10.0	福祉保健	①就労移行支援の利用者数	143人 (H27年度)	208人	118人	241人	B 概ね順調に施策を展開している	・成年後見制度法人後見支援事業 ・東京2020パラリンピック競技大会国際交流推進事業 ・東京2020パラリンピック強化指定選手支援事業 ・障がい者地域生活拠点等整備推進事業 ・障がい者福祉施設整備事業 ・知的障がい者自立生活促進事業委託 ・介護・訓練等給付費事業 ・自立支援医療費給付事業 ・福祉タクシー助成金 ・障がい者医療助成事業 ・障がい者福祉手当給付事業 ・障がい者就労サポートサロン ・地域生活支援事業 ・発達障がい児巡回専門員派遣事業	第1部：市民福祉の向上 第1章：社会福祉の充実 資料P1・No.4
			13,074,090	10.1		②就労継続支援（A型）の利用者数	333人 (H27年度)	358人	427人	410人			
						③就労継続支援（B型）の利用者数	1,044人 (H27年度)	1,200人	1,303人	1,200人			
						④上記福祉サービス利用から一般就労への移行者数	41人 (H27年度)	68人	72人	100人			
			14,143,317	10.8		⑤共同生活援助（グループホーム）の利用者数	416人 (H27年度)	437人	497人	500人			
	5 医療体制の充実	(1)地域医療体制の充実	134,548	0.1	福祉保健	①「かかりつけ医」のいる60歳以上の市民の割合	61.1%	70.0% (H28年度)	58.2% (H28年度)	70.0%	C 概ね順調であるが、一部改善が必要	・医務・業務事業(かかりつけ医周知啓発) ・大分市小児夜間急患センター運営支援事業 ・健康危機管理対策事業 ・看護連携推進事業 ・ふれあい看護体験事業	第1部：市民福祉の向上 第2章：健康の増進と医療体制の充実 資料P2・No.07
			328,728	0.3									
			332,092	0.3									
	小 計（H28決算額）			89,152,240	75.7								
小 計（H29決算額）			91,963,526	70.9									
小 計（H30予算額）			95,847,910	73.2									

※ 施策評価／評価指標の達成度を踏まえ総合的に施策展開を評価

基本目標	基本的な 施策	施 策	事 業 費		部局名	重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）					評 価 ※	今後の施策展開(考え方)	
名称	名称	名称	H28決算額 H29決算額 H30予算額	比率 (事業費)		指 標 名	基準値 (H26年度)	計画 (H29年度)	実 績 (H29年度)	目標値 (H31年度)		施策評価（案）と施策ごとの主な事業 (赤) 平成30年度新規事業	大分市総合計画での位置付けと 政策・施策資料ページ及び施策 コード
Ⅲ いつまでも住み続けたいまちをつくる	【基本的方向】 市民総参加の協働のもと、市民と行政との信頼関係をより高めながら、地域の活力と魅力を最大限に引き出し、地域コミュニティの活性化を図るなか、だれもが住み続けたいなるまちづくりを進める。 また、文化・芸術を生かしたまちづくりを進めるなど、本市の魅力づくりと情報発信に努めるとともに、移住・定住を促進するため、豊かさを実感できる安全で快適な住みよい居住環境の創出を図る。 さらに、豊かな自然を次世代に引き継いでいくため、環境の保全に努める。		数値目標 1			県外への転出者と県外からの転入者の均衡を目指す	△1,654人	±0人	△977人	±0人	C 概ね順調であるが、一部改善が必要	本市では、移住促進施策として、県外からの転入者が市内に住宅を新築または空家を購入する際に、その費用の一部を補助するとともに、県との連携のもと、県外で開催される移住相談会への参加やガイドブック、専用ホームページを活用し本市の魅力や移住施策のPRを行うなど、積極的な取組を進めている。 今後も引き続き、本市の魅力発信を積極的に行いながら、移住希望者のニーズの把握に注力し、県外移住者をさらに呼び込む必要があるとともに、U/IJターン希望者などに対し、各部局が連携する中で住宅情報や地域に関する情報を提供していくなど、より効果的な移住者支援の取組を進めていくことが必要である。 また、県内経済の長期的な担い手となる若い世代の転出超過が大きいことから、学生をはじめ若者の地元定着に向け、地元への進学や就職を促進する取組と併せ、本市における文化・芸術の創造やスポーツの振興をはじめとする各種施策を通じて、地域の活力と本市の魅力を最大限に引き出し、だれもが住み続けたいなるまちづくりを目指す取組を行っていく必要がある。	
	1 コミュニティの活性化	(1) 地域コミュニティの活性化	416,298	0.4	市民 土木建築 企画	① おおむね小学校校区単位で取り組むまちづくり推進組織の数	8校区 (H27年度末現在)	11校区	11校区	20校区	C 概ね順調であるが、一部改善が必要	・地域まちづくりビジョン策定事業 ・地域づくり交付金事業 ・地域おこし協力隊事業 ・地域コミュニティ創造事業 ・ご近所の底力再生事業 ・地域まちづくり活性化事業 ・市民協働推進事業(自治会サポートプラン) ・市民活動支援事業 ・都市内分権推進事業 ・道路・河川美化事業	第1部：市民福祉の向上 第4章：地域コミュニティの活性化 資料P3・No.10
			468,913	0.4		② 市民と行政が協働でまちづくりを行っていると考える市民の割合	37.1%	45.0%	39.5%	50.0%			
			519,094	0.4									
	2 大分市の魅力発信と移住・定住の促進	(1) 安全で快適な住宅の整備	1,525,798	1.3	市民 土木建築 都市計画	① 住宅の耐震化率	82.3% (H27年度末現在)	87.4%	83.4%	92.5%	B 概ね順調に施策を展開している	・木造住宅・木造店舗等耐震化促進事業 ・ふるさと団地の元気創造推進事業 ・住宅等ストック対策推進事業 ・住居表示整備事業 ・木造住宅防災ベッド設置事業 ・木造住宅耐震シェルター設置事業 ・空家等改修支援事業 ・老朽危険空き家等除却促進事業 ・移住者居住支援事業 ・危険ブロック塀等除去事業 ・子育て・高齢者世帯リフォーム支援事業	第5部：都市基盤の形成 第2章：安定した生活基盤の形成 資料P11・No.36
			1,138,182	0.9		② 大分市住み替え情報バンクの登録数（累積）	76件 (H27年度末現在)	132件	129件	200件			
			2,015,473	1.5		③ 「移住者居住支援事業」による移住世帯数（累積）	—	21世帯	22世帯	58世帯			
	2 大分市の魅力発信と移住・定住の促進	(2) 個性豊かな文化・芸術の創造と発信	2,798,667	2.4	企画 教育委員会	① 大分市美術館利用者数	412,004人 (H19～27平均)	500,000人	410,307人 (H28～29平均)	500,000人 (H28～31平均)	B 概ね順調に施策を展開している	・別府アルゲリッチ音楽祭負担金 ・アートレジジョン推進事業 ・ワクワクおおいたFunai魅力発信事業 ・大友氏遺跡保存整備事業 ・日本劇作家大会おおいた2018 ・おおいた夢色音楽プロジェクト ・第33回国民文化祭・第18回全国障害者芸術文化祭開催事業 ・府内城宗門櫓復元活用事業	第2部：教育・文化の振興 第2章：個性豊かな文化・芸術の創造と発信 資料P5・No.15
			1,984,863	1.5		② アートプラザ利用者数	172,251人 (H19～27平均)	180,000人	169,358人 (H28～29平均)	180,000人 (H28～31平均)			
			2,411,326	1.8		③ 文化ホール（コンパルホール、ホルトホール大分の市民ホール、能楽堂）利用者数	391,041人 (H27年度)	399,000人	384,306人	417,000人			
						④ 歴史資料館利用者数	45,859人 (H27年度)	46,000人	46,422人	47,000人			
	(3) スポーツの振興		851,163	0.7	企画	① 大分市スポーツフェスタの参加者数	5,048人 (H27年度)	5,500人	5,045人	6,000人	C 概ね順調であるが、一部改善が必要	・市営陸上競技場改修事業 ・部活動指導員活用事業 ・東京2020オリンピック強化指定選手支援事業 ・国際スポーツ誘致推進事業 ・駄原総合運動公園改修事業 ・スポーツ・オブ・ハート2018開催事業 ・南部地域スポーツ施設整備事業 ・小中学生クラブスポーツ振興事業 ・ホームタウン推進事業 ・総合型地域スポーツクラブ事業 ・社会体育振興事業(スポーツフェスタ開催事業)	第2部：教育・文化の振興 第3章：スポーツの振興 資料P5・No.16
			1,640,710	1.3		② 県民体育大会の優勝種目数（郡市対抗競技36種目中）	25種目 (H27年度)	25種目	18種目	27種目			
			2,258,915	1.7									
	(4) 国際化の推進		22,812	0.0	企画	① 外国人と直接触れ合える事業に参加した子どもの数	38,473人 (H27年度)	39,100人	39,763人	39,700人	B 概ね順調に施策を展開している	・アペイロ市40周年提携記念事業 ・外国人防災対策事業 ・車いすマラソン選手受入れ事業 ・ミュージシャン受入れ事業 ・大分・武漢友好訪問団相互派遣事業 ・マラソン交流事業 ・青少年国際理解促進事業 ・国際協力啓発月間事業 ・留学生生活用事業	第2部：教育・文化の振興 第4章：国際化の推進 資料P5・No.17
			28,579	0.0		② 外国籍を有する市民への生活オリエンテーション等の実施数	35件 (H27年度)	50件	37件	50件			
			49,912	0.0									

※ 施策評価／評価指標の達成度を踏まえ総合的に施策展開を評価

基本目標		基本的な 施策	施 策		事 業 費		部局名	重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）					評 価 ※	今後の施策展開(考え方)	
名称	名称	名称	H28決算額 H29決算額 H30予算額	比率 (事業費)	指 標 名	基準値 (H26年度)		計画 (H29年度)	実 績 (H29年度)	目標値 (H31年度)	施策評価（案）と施策ごとの主な事業 （赤）平成30年度新規事業	大分市総合計画での位置付けと 政策・施策資料ページ及び施策 コード			
Ⅲ いつまでも住み続けたいまちをつくる	3 環境の保全	(1)豊かな自然の保全と緑の創造	80,125	0.1	都市計画 土木建築 環境	①「郷土の緑保全地区」区域指定面積（累積）	76.4ha (H27年度)	80.7ha	76.4ha	85.0ha	C 概ね順調 である が、一部 改善が必要	・特定外来生物対策事業(アライグマ防除実施事業) ・身近な自然観察会 ・大分市緑の基本計画策定事業 ・大分市郷土の緑保全事業 ・おおいた人とみどりのふれあいいち ・緑化啓発事業(緑化推進花いっぱい事業) ・名木保存事業 ・活き粋大分街かど空間奨励事業 ・美しい水辺づくり事業	第6部：環境の保全 第1章：豊かな自然の保全と緑 の創造 資料P12・No.38		
			80,887	0.1											
			112,682	0.1											
		(2)快適な生活環境の確立	5,181,391	4.4	環境	②ボランティア清掃団体登録件数	209団体 (H27年度末 現在)	217団体	211団体	225団体	C 概ね順調 である が、一部 改善が必要	・有料指定ごみ袋事業 ・新環境センター整備事業 ・日本一きれいなまちづくり事業 ・きれいにしょうえおおいた推進事業	第6部：環境の保全 第2章：快適な生活環境の確立 資料P12・No.39		
			4,941,311	3.8											
			4,902,841	3.7											
	小 計（H28決算額）			10,876,254	9.2										
	小 計（H29決算額）			10,283,445	7.9										
	小 計（H30予算額）			11,601,857	8.9										

※ 施策評価／評価指標の達成度を踏まえ総合的に施策展開を評価

基本目標		基本的な 施策	施 策		事 業 費		部局名	重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）					評 価 ※	今後の施策展開(考え方)	
名称	名称	名称	H28決算額 H29決算額 H30予算額	比率 (事業費)	指 標 名	基準値 (H26年度)		計画 (H29年度)	実 績 (H29年度)	目標値 (H31年度)	施策評価（案）と施策ごとの主な事業 （赤）平成30年度新規事業	大分市総合計画での位置付けと 政策・施策資料ページ及び施策 コード			
IV 安全・安心な暮らしを守り、 未来をつくる	【基本的方向】 自然災害などあらゆる不測の事態に対応するため、市民と行政、防災関係機関が連携・協力して、災害に強い、安全・安心なまちづくりを進める。 また、各地域の現況や特性に配慮し、魅力ある地区拠点の形成を図るなど、均衡ある発展と秩序ある市街地の整備を進め、バランスのとれた都市の創造を目指す。 さらに、総合的な交通ネットワークの形成を図るとともに、県や周辺市町等、さまざまな団体と連携を図り、未来へ向けたまちづくりを進める。		数値目標 1			防災訓練を実施した自主防災組織数(累積)	376組織 (H27年度)	450組織	427組織	全自主防 災組織 (602組織)	B 概ね順調 に施策を 展開して いる	支所及び南海トラフ地震の津波浸水想定区域の市有施設等に整備しているJアラートと連動した同報系防災行政無線の整備が平成29年度に完了し、他の既存の情報伝達手段と合わせて災害時の情報などを広く市民等に一斉に情報伝達できる体制が構築されたことから、災害時等に着実に運用できるよう、効果的かつ実効性のある防災訓練を行っていくなど、従来では想定し得なかった自然災害を含むあらゆる不測の事態にも対応できる災害に強いまちづくりを進めるため、市民と地域、防災関係機関と行政が一体となった危機管理対策を推進する必要がある。 また、国が提唱する「連携中枢都市圏構想」に基づき、本市と周辺6市1町で構成する大分都市広域圏での取組を引き続き推進することで、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、各市町の一体的かつ持続的な発展を図り、圏域全体の経済成長の実現を目指す必要がある。			
						数値目標 2			広域連携事業数（累積）	—				30事業	31事業
	1 安全・安心なまちづくり	(1)防災・危機管理体制の確立	1,131,909	1.0	総務 福祉保健 都市計画	①防災訓練を実施した自主防災組織数（累積）	376組織 (H27年度)	450組織	427組織	全自主防 災組織 (602組織)	B 概ね順調 に施策を 展開して いる	・自主防災組織活動支援事業 ・津波緊急避難施設整備事業 ・避難所整備事業（応急給水拠点整備事業含む） ・避難所看板整備事業 ・被災者台帳システム導入事業 ・特定建築物耐震化推進事業(改修) ・自主防災組織活動事業費補助金 ・被災者救援物資等備蓄事業 ・防災訓練事業 ・避難行動要支援者対策事業 ・福祉避難所用備蓄物資整備事業	第3部：防災安全の確保 第1章：防災力の向上 資料P6・No.18		
			1,300,501	1.0		②特定建築物の耐震化率	90.2% (H27年度)	92.2%	91.1%	94.1%					
			650,253	0.5											
		(2)治山・治水対策の充実	1,097,316	0.9	上下水道局 土木建築	①土砂災害ハザードマップ作成箇所数（累積）	33箇所 (H27年度末 現在)	700箇所	816箇所	1,000箇所	B 概ね順調 に施策を 展開して いる	・野津原地区浸水対策事業 ・佐賀関馬場地区浸水対策事業 ・猿喰川改良事業 ・宮尾川改良事業 ・大谷川改良事業 ・土砂災害ハザードマップ整備事業	第3部：防災安全の確保 第1章：防災力の向上 資料P6・No.19		
			571,343	0.4											
			1,172,608	0.9											
		(3)消防・救急体制の充実	867,836	0.7	消防	①一般・普通・上級救命講習受講者数（累積）	11,585人 (H27年度)	28,000人 (H28～29 累積)	25,389人 (H28～29 累積)	56,000人 (H28～31 累積)	B 概ね順調 に施策を 展開して いる	・松岡出張所救急隊配置事業 ・消防団詰所等施設整備事業 ・大分市かた昼消防団育成事業 ・救助体制整備事業 ・非常備消防車両等購入事業 ・常備消防車両購入事業 ・救急業務高度化推進事業 ・緊急消防援助隊等整備事業 ・応急手当普及啓発事業 ・住宅防火推進事業	第3部：防災安全の確保 第2章：安全・安心な暮らしの 確保 資料P6・No.20		
			1,266,632	1.0											
1,163,543			0.9												
2 快適な都市構造の形成	(1)計画的な市街地の形成	6,098,062	5.2	土木建築 商工労働観光 都市計画	①土地区画整理事業施行済面積（累積）	2,170ha (H27年度末 現在)	2,236ha	2,219ha	2,301ha	C 概ね順調 である が、一部 改善が必 要	・西部海岸地区魅力創造拠点施設形成事業 ・大規模公有地利活用推進事業 ・大分市中心市街地祝祭広場整備事業 ・旧荷揚町小学校跡地利活用事業 ・鉄道残存敷整備・活用事業 ・土木計画・企画立案事業 ・道路新設改良・道路維持・道路舗装事業 ・橋梁等長寿命化事業 ・立地適正化計画策定業務 ・中心市街地活性化事業 ・中心市街地小売業年間商品販売額調査事業 ・中心市街地プロモーション事業	第5部：都市基盤の形成 第1章：快適な都市構造の形成 と機能の充実 資料P10・No.31			
		9,937,789	7.7		②無電柱化延長（累積）	40.2km (H27年度末 現在)	40.2km	40.2km	43.0km						
		9,716,106	7.4		③市道橋における修繕済の橋数（累積）	32橋 (H27年度末 現在)	57橋	51橋	132橋						
	(2)交通体系の確立	422,433	0.4	都市計画	①人口一人当たりの年間公共交通（鉄道・バス）利用回数	44.4回	46.6回	46.6回 (JR竹中駅 除く)	48.0回	C 概ね順調 である が、一部 改善が必 要	・公共交通受入環境整備推進事業 ・シェアサイクル普及促進事業 ・周辺地域循環型交通実証運行事業 ・交通結節機能用地高度利用等検討調査事業 ・鉄道駅バリアフリー化推進事業 ・鉄道駅自由通路整備事業 ・浜町・芦崎・新川地区住環境整備事業 ・横尾土地区画整理事業 ・豊予海峡ルート推進事業 ・ふれあい交通運行事業 ・おおいたサイクルパスパル運営事業 ・港湾関係事業負担金 ・中心市街地循環バス運行事業	第5部：都市基盤の形成 第1章：快適な都市構造の形成 と機能の充実 資料P10・No.32			
		502,732	0.4		②市が設置する中心市街地における駐輪場の収容台数	3,871台 (H27年度末 現在)	4,261台	3,912台	4,650台						
		738,182	0.6												

※ 施策評価／評価指標の達成度を踏まえ総合的に施策展開を評価

基本目標	基本的な 施策	施 策	事 業 費		部局名	重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）					評 価 ※	今後の施策展開(考え方)		
名称	名称	名称	H28決算額 H29決算額 H30予算額	比率 (事業費)		指 標 名	基準値 (H26年度)	計画 (H29年度)	実 績 (H29年度)	目標値 (H31年度)		施策評価（案）と施策ごとの主な事業 （赤）平成30年度新規事業	大分市総合計画での位置付けと 政策・施策資料ページ及び施策 コード	
IV らしを つくる 安全・安心なく 未来を	3 未来へ向けたまち づくり	(1)持続可能な地域社会づくり		0.0	企画	公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策 定数（累積）	—	10計画	30計画	10計画	B 概ね順調 に施策を 展開して いる	・公共施設マネジメント推進事業 ・大分都市広域圏推進事業 ・道路構造物等長寿命化事業	基本計画総論 第6章：計画推進の基本姿勢	
				0.0		広域連携事業数（累積）	—	30事業	31事業	50事業				
				0.0										
小 計（H28決算額）			9,617,556	8.2										
小 計（H29決算額）			13,578,997	10.5										
小 計（H30予算額）			13,440,692	10.3										
H28決算額			117,718,172	100.00										
H29決算額			129,716,534	100.00										
H30予算額			131,016,608	100.00										